

特定非営利活動法人ケアセンターいこい
職員の処遇改善に関する取り組み

当法人は、令和7年度介護職員等処遇改善加算を取得し、賃金改善と職員の処遇改善に、以下のとおり取り組みます。

1. 加算取得状況

事業所名	令和6年6月以降 処遇改善加算区分	令和7年4月以降 新加算区分
ケアセンターいこい指定訪問介護事業所	加算Ⅰ	加算Ⅰ
いこいデイサービスセンター	加算Ⅰ	加算Ⅰ
いこいデイサービスセンター・平泉	加算Ⅰ	加算Ⅱ
デイサービスセンター・いこいの丘	加算Ⅰ	加算Ⅰ
いこいリハトレセンターげんき	加算Ⅱ	加算Ⅰ
高齢者グループホームいこいの華	加算Ⅱ	加算Ⅱ
高齢者グループホームいこいの杜	加算Ⅱ	加算Ⅱ
高齢者グループホームいこいの友	加算Ⅱ	加算Ⅱ

2. 職場環境要件の具体的取組内容

	職場環境要件項目	当法人の取り組み
要件 補助金の	● 介護人材確保・職場環境改善等補助金の要件 ③業務改善活動の体制構築(委員会やプロジェクトチームの立ち上げ又は外部の研修会の活動等)について対応	● DX推進チームを立ち上げ、デジタル技術の積極的活用と共に、業務効率化や改善について、現場の意見を集め協議する活動を実施中 (※令和7年度は以下要件に変えて要件クリア)
入職促進の取組	● 事業者の共同による採用・人事ローテーション・研修のための制度構築 ● 他産業からの転職者・主婦・中高年齢者等、経験や有資格にこだわらない幅広い採用(採用実績) ● 職業体験の受け入れや地域行事への参加や主催等による職業魅力度向上の取組の実施	● 採用は事業所間共通で実施し、適材適所の配置を心掛け、職員のワークライフバランスにも配慮する ● 他業種から転職者・中高年齢者の受入れ実績有 ● 毎年、中高生の職場体験を積極的に受け入れる ● 市の行事への参加や協賛、各事業所と地域の皆さまとの交流会開催、市内スポーツ少年団伝交流大会に協賛する等、地域とのかかわりを大切にしている
資質の向上	● 働きながら介護福祉士取得を目指す者に対する実務者研修受講支援や、より専門性の高い研修の受講支援等 ● エルダーメンター制度導入 ● 上位者・担当者等によるキャリア面談など、定期的な相談の機会の確保	● 勤務シフト調整により研修受講を優先的に行えるよう配慮。また、法人内にて喀痰吸引の実地指導環境を整え、職員が継続的に研修を受けられる環境 ● 資格取得支援制度により、受講費用補助や合格祝金により職員が受講しやすい環境を整備 ● 新人職員には OJT 担当者を配置し指導育成する ● 年1回以上の職員と管理者の面談を実施
推進 多様な働き方の	● 職員の事情や状況に応じた勤務シフト、短時間正規職員制度の導入、職員の希望に即した非正規職員から正規職員への転換の制度等の整備 ● 有給休暇の取得促進のため、情報共有や複数担当制等により、業務の属人化の解消、業務配分の偏りの解消を行う	● 職員の事情に配慮した勤務シフトを相談調整 ● 非正規職員から正規職員への転換制度が整備されており、転換を毎年継続的に実施 ● 有給休暇の取得しやすい雰囲気はあるが、さらに属人化解消は都度意識して業務分担を行っており、情報共有も常に協議し改善を進めている
心身の健康管理	● 業務や福利厚生、メンタルヘルス等の相談体制の充実 ● 短時間勤務労働者も受信可能な健康診断・ストレスチェックや従業員の為の休憩室設置等実施 ● 介護職員の身体の負担軽減のための介護技術の修得支援、職員に対する腰痛対策の研修、管理者に対する雇用管理改善の	● 各種相談窓口を設置して対応 ● 短時間労働職員も健康診断を受診可能。 ● 介護技術修得は、オンライン研修を全ての事業所から閲覧できる環境を整備 ● 腰痛発生しそうな事案は、早期にスライドボードやマッスルスーツなどの機器を利用し腰痛防止に努める
生産性向上の取組	● 厚労省の示す「生産性向上ガイドライン」に基づき業務改善活動の体制構築 ● 現場の課題の見える化 ● 5S 活動等の実践による職場環境整備 ● 介護ソフトや情報端末の導入 ● 介護ロボットやインカム等の連絡調整の迅速化に資する ICT 機器の導入による業務量の縮減 ● 各種委員会の共同設置、各種指針・計画の共同策定、物品共同購入、等の職場環境取り組み	● DX 推進チームを組織し、デジタル技術活用のみにとどまらず、現場での業務効率化、改善等を促進する体制を構築。課題の洗い出しから改善まで一貫通貫で中心となって活動中。 ● 安全衛生委員会を定期的に開催し5S 活動を推進 ● 介護専用システムを導入し、利用者情報・記録・請求業務まで一貫しており、業務の効率化を図っている。 ● 各フロアへタブレットを導入 ● 指針・マニュアル・計画は全事業所間共通共同で総務と本部主導で整備、委員会は共同開催する
働きがいの醸成	● 地域包括ケアの一員としてのモチベーション向上に資する、地域児童・生徒や住民との交流の実施 ● ケアの好事例や、利用者や家族からの謝意等の情報を共有する機会の提供	● 地域の児童会や学童との交流行事を積極的に行う ● 各事業所で日々起きている問題点・良い点を、キャプテン会議を通して法人内で共有する